

ASEAN グローバルプログラム に参加して

岡 野 光 秀
Mitsuhide OKANO
電子情報通信課程 2年

1. はじめに

2023年8月26日から9月1日までの1週間、ベトナム、ハノイでASEAN グローバルプログラムに参加した。今回の研修の目的は、ベトナムの交通課題を解決する提案を考え、発表することであった。研修の日程を、表1に示す。

表1 研修の日程

8月26日(金)	出国, オリエンテーション
8月27日(土)	キャリアフォーラム 市内観光
8月28日(日)	Willer Vietnam 箱田様の講演 大学間交流セミナー ミーティング
8月29日(月)	リサーチ, ミーティング
8月30日(火)	リサーチ, ミーティング
8月31日(水)	プレゼンテーション
9月1日(木)	帰国

2. 参加動機

今回私がASEAN グローバルプログラムに参加した理由は三つある。一つ目は、海外の文化や生活習慣を知りたいと思ったからである。二つ目は、将来のキャリア選択肢を増やすためである。私は、今まで日本で就職することだけを考えていた。このプログラムで海外の企業について知ることによって自分の選択の幅が広がるのではないかと考えた。三つ目は、ハノイ工業大学の学生と交通課題に取り組むことでコミュニケーション能力の向上や自分にはない考え方、プレゼンテーション能力が身に付くと思ったからである。ハノイ工業大学の学生と交流することで

自分では思いつかなかった考え方を知ることができ、意見を交えることでコミュニケーション能力が向上できると考えた。また、プレゼンテーション資料の作成や発表を通じてプレゼンテーション能力が身に付くと考えた。

3. 研修内容

3.1 キャリアフォーラム

キャリアフォーラムでは、ベトナムで働く日本人のビジネスパーソンの方々に質問を行った。その中で私は、大学生の時どのようなキャリアプランを立てていたかという質問をして、返って来た回答が印象に残っている。大学院に入り、20代前半で一級建築士を取り、30歳で海外に行き仕事をするというキャリアプランを大学生時代に立てており、今のところ計画通りに進んでいるという話を聞いた。そして、計画通りに進んだ理由を聞いてみると学生時代1人で海外旅行に行っていたことで行動力や解決力が身に付いたと話を聞き、今の自分に足りないものや将来のことについて考えさせられた。

3.2 リサーチ

リサーチでは、自分たちが考えた提案の有効性を調べるアンケートを作成し、ベトナムの方々から回答いただいた。8月29日(月)のリサーチは、旧市街とロッテホテル周辺でアンケートを取った。8月30日(火)のリサーチはハノイ工業大学でアンケートを取った。初めは、日本語が通じないためコミュニケーションが取れなく緊張した。ハノイ工業大学の学生が進んでアンケートを取ってくれたので自分も頑張ろうと思った。スマホを使った和訳やハノイ工業大学の学生のサポートのおかげでベトナム人とコミュニケーションが取れてアンケートを行うことができた。ベトナムの方々とのコミュニケーションが取れたことでコミュニケーション能力が向上したと感じた。また、自分から話しかけに行くことで行動力が身に付いたと感じた。スマホの和訳に頼ってしまうことが多かったので英語が力不足に感じ

た。なので、これからは、英語の勉強に力を入れたと思った。

3.3 ミーティング

ミーティングでは、Willer 株式会社様が課題として出されたベトナムの交通課題の解決策についてチーム内で考えた。8月28日（日）のミーティングでは、ハノイ工業大学の学生と初めて対面で話合った。私の班は、ハノイ工業大学の学生と初めての交流であったため、龍谷大学とハノイ工業大学の学生の意見をまとめてアンケートの内容を考えた。8月29日（月）のミーティングでは、旧市街とロッテホテル周辺で取ったアンケート結果を龍谷大学生がまとめ、ベトナム語で得た意見をハノイ工業大学の学生が和訳し、残った学生がパワーポイントの構成を考えて、チーム内で役割分担をした。8月30日（火）のミーティングでは、ハノイ工業大学で取ったアンケート結果と8月29日（月）に取ったアンケート結果を元にしてアイデアをまとめ、パワーポイントを完成させた。発表の言語が日本語だったので、ハノイ工業大学の学生が読めるように漢字にはフリガナをつけ、できるだけ読みやすい文章を作成した。ハノイ工業大学の学生の意見を取り入れることでベトナム人の考えを取り入れることができ、より良いパワーポイントが作成できたと思った。パワーポイントやアンケートの作成で自分の意見を伝えることでコミュニケーション能力が向上したと感じた。

3.4 プレゼンテーション

プレゼンテーションでは、自分たちが作成したパワーポイントを Willer ベトナム株式会社代表の箱

田様の前で発表した。企業の方に向けてプレゼンテーションをすることは、初めてだったので良い経験になった。今回のプレゼンテーションで他の班がどのような課題に注目し、どうやって解決するのかを聞き、自分にはなかった考えや知識を知ることができた。

4. おわりに

今回の研修を通してたくさんの経験や知識を身につけることができた。また、自分に足りない力や将来のキャリアについて甘く考えていたことが理解できた。私は、課題解決力と英語の力が足りていないと感じた。ミーティングでの意見交換で自分の意見を言った後、具体的な解決策を出せず、班のメンバーに助けてもらうことが多くあった。また、ハノイ工業大学の学生と交流する時は、日本語や翻訳機を使って話すことが多く、英語の力が不足していることを感じた。このことから、これからの大学生活では、英語の学習に力を入れ、課題解決力を向上させるためにいろいろな取り組みに積極的に参加し、力を養っていききたいと思う。今回のプログラムを通して一番感じたことは、コミュニケーション能力の向上である。今までは、自分から意見を言うことや自分から話を振ることがなかった。しかし、今回のプログラムでは、パワーポイントやアンケートの作成で自分から意見を言い、ハノイ工業大学の学生に話を振ることができていたのでコミュニケーション能力が向上しているのだと感じた。ハノイ工業大学の学生との交流で日本とは違うベトナムの考え方や感じ方があり、自分にはない考え方を知ることができた。今回のプログラムで身につけた力を今後の大学生活で発揮できるように頑張りたいと思う。